

## 【執筆者情報】

### 宮城 弘樹（みやぎ ひろき）

沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科 准教授

今回、「御殿形厨子」の底孔の数や配列という、マニアックで細かいところに着目し、調査させていただいた。資料として利用した門上コレクションは、多様な厨子甕を一瞥できる恰好の資料群で、実物を間近で見ることができたのは至福の時間であった。本稿をまとめるにあたり、特に、那覇市壺屋焼物博物館学芸員の伊集守道、倉成多郎、比嘉立広、又吉幸嗣氏より多大な協力、ご助言をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

### 吉田 健太（よしだ けんた）

那覇市市民文化部文化財課開発調整グループ所属 主任学芸員

壺屋古窯群が発掘調査されて、今年で30年余り経過しました。現在、那覇市内における開発調整件数は想定以上の急増を示しており、その中には壺屋地区も含まれています。壺屋における近世窯業生産の様相解明は待ったなしの状態であり、本報告が文化財保護の一助になれば幸いです。調査にあたり御協力頂きました壺屋地域の皆様に改めて御礼申し上げます。

### 田口 恵（たぐち めぐみ）

那覇市市民文化部文化財課歴史博物館グループ所属 会計年度任用職員 古文書解読員

新城家文書の場合、他家の文書と比較すると、任職に関わる「覚」・「口上覚」が、ほぼ家譜に記載されていないことがみえる。この点は、これまでの家譜の位置づけが大きく変わるもののような気がした。この稿をまとめるにあたり、外間政明氏、伊集守道氏、大城直也氏に多大なご助言をいただいた。記して感謝いたします。

### 山田 葉子（やまだ ようこ）

那覇市市民文化部文化財課歴史博物館グループ所属 会計年度任用職員 主任学芸員

前々号（紀要20号）に続き、那覇市歴史博物館所蔵「国宝 琉球国王尚家関係資料」から『御絵図』について報告しました。今回は7冊ある御絵図帳のうち、文書番号No.6の1冊に所載された24点の報告となりましたが、未報告の御絵図帳はあと4冊あり、御絵図全体では前回報告の分を合わせても約27%を報告したにとどまっています。残りの資料についても引き続き報告をしていきたいと考えています。

### 伊集 守道（いじゅ もりみち）

那覇市市民文化部文化財課歴史博物館グループ所属 主任学芸員

今回紹介した「古き壺屋を語る」は、戦前の壺屋を知るうえで貴重な記録になると思われます。翻刻にあたって、小橋川清市様には多大なるご協力をいただきました。重ねて感謝申し上げます。